



フルーツは和歌山県環境をまもっています。

近畿大学生物理工学部 仁藤伸昌

1. 和歌山県は日本一のフルーツ王国です
2. 身近なフルーツ
3. いろいろなみかん・変わったみかん
4. 和歌山生まれのみかん
5. 和歌山県のみかんのれきし
6. けいしゃちでのフルーツづくり
7. フルーツを食べるといいことがある
8. フルーツのクイズ

などがあります。楽しんでください。



くだもの王国和歌山県



次のページのデータを見てください。

1. 和歌山県は日本一のフルーツ王国です。

和歌山県内ではいろいろなフルーツがさいばいされ、わたくしたちの生活を楽しませてくれています。和歌山県でせいさんされているいくつかのフルーツのせいさんりょうは、全国第1位です。**さんしょう**と**うめ**のせいさんりょうは、ダントツで、全国シェアは60%をこえています。表は和歌山県のフルーツのせいさんりょう、全国シェア、全国じゅんいを示しています。**みかん**も**かき**も日本一です。

和歌山県と全国の果樹生産量（平成30年）

品 目	和歌山県生産量 (トン)	全国生産量 (トン)	全国シェア (%)	生産量 全国順位
みかん	155,600	773,700	20.1	1
う め	73,200	112,400	65.1	1
か き	39,200	208,000	18.8	1
はっさく	24,877	33,747	73.7	1
清 見	4,657	12,385	37.6	2
不 知 火	5,225	43,627	12.0	3
さんしょう	473	736	64.2	1
いちじく	2,278	12,968	17.6	1
も も	7,420	113,200	6.6	5
す も も	3,330	23,100	14.4	2

2. 和歌山県で栽培されているいろいろなフルー（1）



う め



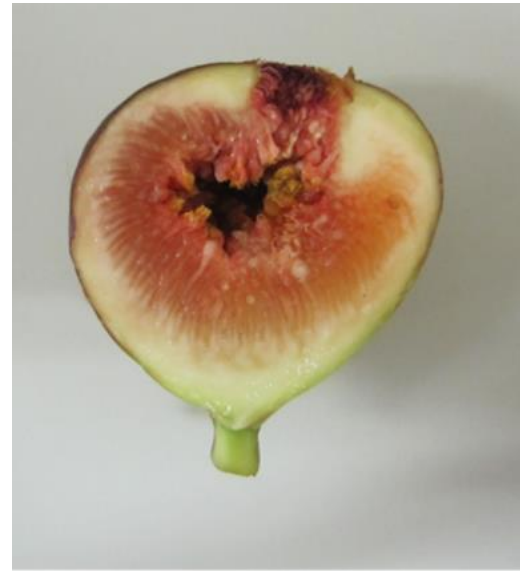
も も



か き



2. 和歌山県で栽培されているいろいろなフルーツ（2）



いちじく



キーウフルーツ

3. いろいろなみかん

みかんのなかまにはいろいろな大きさ、かたち、色などのちがいがあります。また、カラタチでは枝も変わっています。その一部をここに示します。いろいろなみかんを楽しんでください。



いろいろなみかん



果肉やジュースの色もいろいろです。



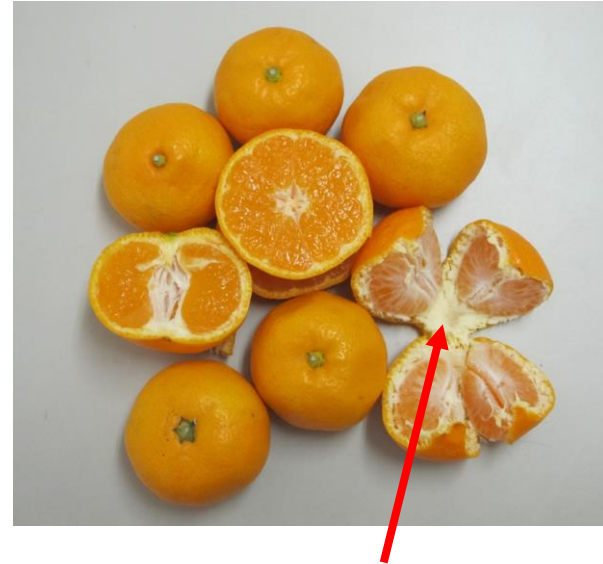
カンキツ果実の多様性



いろいろなみかん（近畿大学附属農場で保存）



うんしゅうみかん



和歌山むき

和歌山むきと言うどくとくの皮むきの方法が伝わっています



近畿大学附属農場で発見されたふ入りのうんしゅうみかんです。中の果実のあじは、うんしゅうみかんです。

変わった形のみかんです。



キクミダイダイ



ブッシュカン（仏手柑）

カラタチの枝ぶりも変わったものがあります。

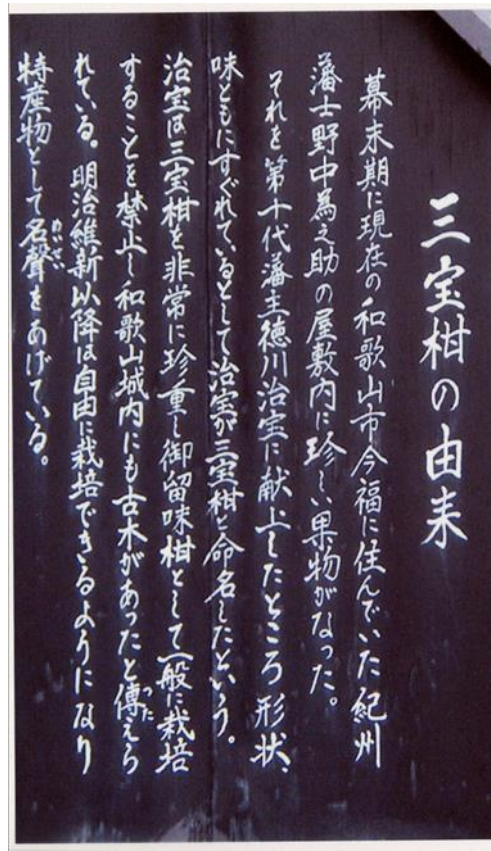


ちょっと曲がっている



くねくね曲がっている

5. 和歌山生まれのみかん‘サンボウカン’（三宝柑）。和歌山城の中に植えられています。



サンボウカン
（三宝柑）



和歌山城天守閣内の木

6. 和歌山県のみかんの歴史

みかんの歴史

時代	西暦	歴史のあゆみ
室町	1429	糸賀荘に自生の橘があったと記録されている。(糸鹿社由緒書)
	1440	接木が始まり、蜜柑の木が殖やし育てられる。
	1521	
	1527	
	1574	伊藤孫右衛門が、肥後八代より蜜柑の苗木を持ち帰ったと伝えられる。 (紀州蜜柑伝来記)
安土桃山	1601	有田郡で蜜柑が栽培されていたことが記されている。 (須谷村検地帳)
	1597	このころから大坂、堺、伏見へ初めて蜜柑を積み出す。 (紀州蜜柑伝来記)
	1614	
江戸	1619	堺の商人が紀州富田浦から 250 石積みの船を借受け、江戸への海上交通を開く。
	1632	滝川原村の藤兵衛が初めて江戸に 400 籠の蜜柑を送ったと伝えられる。 (紀州蜜柑伝来記)
	1624	蜜柑の出荷販売組織、蜜柑方が逐次生まれた。
	1643	
	1685	紀伊国屋文左衛門が嵐について江戸に蜜柑を送ったと伝えられる。
明治	1698	紀州藩が「蜜柑御口銀」として蜜柑税を徴収。 (紀州蜜柑伝来記)
	1734	中書甚兵衛「紀州蜜柑伝来記」を記す。
	1813	この頃有田郡で温州蜜柑の栽培が始まる (紀州柑橘論)
	1876	金屋の片桐源左衛門、夏蜜柑を山口県森より導入。
	1887	有田郡の上山英一郎が北米に蜜柑を輸出。
大正	1897	朝鮮へ蜜柑を輸出。
	1913	田殿村大谷に試験場完成。新進気鋭の農学士朝倉金彦氏を場長に迎える。
昭和	1958	有田市千田東地区で全国のみかん園では初めてのスプリンクラーによる共同かん水がはじまる。
	1959	みかん 15kg デンボール使用開始、LMS の呼称採用。

- 1429 糸賀荘に自生の橘
- 1490 接木によりミカンの木が殖やされる
- 1574 肥後八代からミカン苗導入
- 1601 有田郡でミカンの栽培
- 1597 大坂、堺、伏見に出荷
- 1632 藤兵衛が江戸に400籠出荷
- 1685 紀伊国屋文左衛門が江戸に出荷
- 1813 有田郡で温州ミカンの栽培
- 1876 ナツミカンを山口県から導入
- 1887 北米に輸出
- 1897 韓国に輸出
- 1913 田殿村大谷に試験場設立

7. 和歌山県のフルーツが作られているところは？

和歌山県のフルーツは、おもに山のけいしゃ地で作られています。

フルーツを作るために石がきを作ったり、いろいろな木をうえることにより、山くずれを防いだり、自然の環境を守ります。鳥や、昆虫も住みやすい環境になります。農家のみなさんは、環境をうまく利用しておいしいフルーツを作るようにくふうやどりよくをしています。

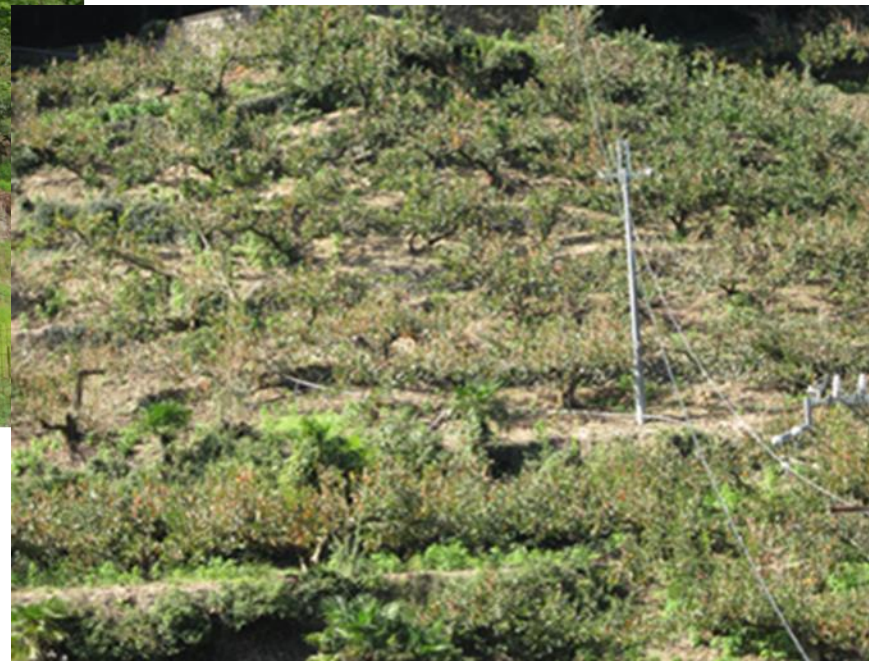
けいしゃちでのみかん畑です。急なこうばいです。



「もも」や「かき」もけいしゃちでさいばいされています。



も も



か き

ていねいにフルーツ作りをしている畑は、きれいですが、さいばいをやめたり、かんりしなくなるとタケやぶになってしまいます。そのような所では、やぶがしげるようになり貧相なけしきになってしまいます。生産者の皆さんが山をきれいにしてくれているのです。



フルーツをたくさん食べて和歌山の環境を守ろう。

みなさんが、フルーツを食べることにより多くのいいことにつながります。フルーツを食べたり、加工品を食べることは皆さんの健康と和歌山県のかんきょうをまもります。フルーツを食べることによるいろいろな効果のじゅんかんをかんがえてみましょう。

たくさんフルーツを食べることによりいろいろいいことがあります。
1つの例を示してみました。皆さんの考えを入れてこれらのピースをつ
ないでみてください。次のページのピースと組み合わせて来年は、すご
ろくを作ってゲームにしたいと思っています。

1日200gのフルーツを食べる

おいしいフルーツが出回る

果樹園の管理が良くなる

生産者は Happy!

生産が多くなる

山がきれいになる

動物、昆虫が増える

けいしゃ地を守る

みんながなかよしになる

山くずれを防ぐ

自然を守る

健康になる

フルーツを食べないことによってこんなことがあるのかなという例です。デメリットを並べてみました。まだあるかもしれません。みんなで話し合ってください。

フルーツを食べない

フルーツを作らない

山の木が枯れる

畑がなくなる

健康でなくなる

草が生えてけしきが悪くなる

山の土がむき出しになる

山くずれが起こりやすくなる

ビタミンCやミネラルが不足する

環境破壊につながる

災害が発生する

フルーツクイズです。

問1. 徳川家康が食べたみかんはどれでしょうか？

- ①ネーブルオレンジ ②紀州みかん ③温州ミカン ④デコポン

問2. 紫式部が見たことのあるミカンはどれでしょうか？

- ①レモン ②温州みかん ③サンボウカン ④タチバナ

問3. 和歌山県で生まれたみかんはどれですか？

- ①サンボウカン ②紀州みかん ③温州みかん ④ハッサク

問4. 温州みかんの原産地はどこでしょうか？

- ①インド ②日本 ③中国 ④韓国

問5. 和歌山県でみかんが産業として栽培が始まったのは今から何年ぐらい前ですか？

- ①第2次世界大戦後の約75年 ②明治時代 ③約400年前 ④昭和の初め

問6. キーウイフルーツの原産地はどこでしょうか？

- ①日本 ②中国 ③ニュージーランド ④エジプト

問7. 渋ガキの渋抜きとはどんなことでしょうか？

- ①お湯で洗い流す ②渋の成分を固めて人に感じなくする
③ドライアイスで蒸発させる

問8. イチジクを食べた時口の中でプチプチするのは何でしょう。

- ①雌(め)花の部分 ②たね ③花粉のかたまり

フルーツクイズの答えです。

- 問1. ②紀州みかん:温州みかんが広まったのは明治以降。
- 問2. ④タチバナ:タチバナは紫宸殿に植えられていた。ひな人形飾りでは、左近のさくら、右近のタチバナとして飾られている。
- 問3. ①サンボウカン:サンボウカンは、和歌山県和歌山市生まれ。
- 問4. ②日本:中国に温州と言う所があるが、温州みかんは日本生まれ。紀州みかんとクネンボの自然交配と言うことが最近わかった。
- 問5. ③紀州みかんは約400年前から栽培されていた。もとは九州から導入された。和歌山県はみかん産業発祥の地。自慢できる！
- 問6. ②中国:原産地は中国で、ニュージーランドで栽培され、ニュージーランドの国の鳥「キーウイ」に似ているのでキーウイフルーツとなった。
- 問7. ②ドライアイスやお湯で処理して渋みのタンニンを固めて舌に感じなくする。
- 問8. ②雌(め)花の部分:日本で栽培されているイチジクはたねができない。雌(め)花の一部を食べる時プチプチする。

クイズがとけたひとへの写真だけのプレゼントです。



ありがとうございました。来年はお会い
しましょう。

フルーツをたくさん食べて元気に過ごし
てください。

そのことが和歌山県の環境保護につなが
ります。

